



Austrian High-Tech Day
2009年9・10月
東京・ホテルニューオータニ
Dr. Bernd Novak

COMMUNICATION
AND INFORMATION
SOLUTIONS FOR
A SAFER WORLD





基幹システム分野における60年以上の経験と技術

私たちは航空管制および公共安全、公共輸送分野の基幹システムに用いる、高い信頼性を備えた情報通信システムを開発・販売しています。

ATM 航空管制



民間用



軍用

PST 公共安全および公共交通



公共安全



公共交通



海上交通



世界規模の管制センターが同一基準の下で展開



フレクエンティス - 会社概要

- 1947年設立
- 2009年度売上高: 約1億8,000万ユーロ
- 本社: ウィーン
 - 世界50カ国以上に子会社と事業拠点
- 従業員数: 800人以上
- 優れた技術力
 - 本社および子会社に資格(HW/SW/PM)を取得した400人以上の優秀なエンジニアが在籍
- 輸出割合 > 90
- 研究開発への割り当て > 12%



初の航空管制システム
(ウィーン・シュヴェヒャート国際空港、1955年)



アメリカ進出: FAA指令センター
(バージニア州ハーンドン、2003年)



2006年、本社をウィーン・ナールクに移転

ATC音声伝送システムで世界の市場をリード



Single European Sky (単一欧州空域構想:SES) - 概要

- ヨーロッパの統一とヨーロッパ経済にとってきわめて高い重要性を持つ構想
- 今後15年の間に、航空交通量が年間で4%増加すると推測
- 2020年までにはほぼ倍増、一部地域では3倍増となる予測
- 航空機の遅延が急増
- 航空機の遅延は複合的な要因によって発生
- 航空管制サービスとそのサポートサービスは完全統合型サービスではなく、現在フル稼働している既存の技術をベースとします
- ヨーロッパ空域は現行の需要をもとに、一定数の航空機が厳格なルート構成に従うことで運営されています
- 欧州委員会によって導入されたSES構想は、ヨーロッパの空域とその航空管制を一国レベルではなく、ヨーロッパ全域で運営することを目指したものです



Single European Sky (単一欧州空域構想:SES) - 2020年からの新たな形態

- 国境にこだわらない空域の分割とルートの設定
- 地理的・政治的状況を考慮しながら、民間用と軍用とで空域を分割
- 4つの主題:空域、サービス供給、管理運営、設備
- 目的:
 - 航空管制能力の増強
 - 安全性の強化
 - 航空管制の細分化の抑制
 - 軍用システムと航空管制組織との連携強化
 - 新技術の導入促進
- ヨーロッパ域内で、高い水準の安全を確保しながら、国境のない単一空域による渡航を実現



Single European Sky (単一欧州空域構想:SES) - SESAR

航空管制 – 必要とされる技術的改善

- 主要な条件として環境保護を重視
- 効率的で低価格の安全な旅客輸送
- 住民の安全



SESAR Joint Undertaking



Single European Sky ATM Research (単一欧州航空管理研究: SESAR)

➤ 目的

➤ 主要3段階

➤ 2005 2008 2014 2016 2020

立案

開発

展開

➤ 構成

➤ コスト

➤ 期待されるメリット

「未来の空を目指すパートナー」





SESAR – ヨーロッパの空の新しいコンセプト

立案段階

□
6,000万ユーロ
(2年間)

- 現在のATM研究開発費:
最大で年間2億ユーロ
(主に研究)

開発段階

21億
ユーロ
(8年間)

- 現在の投資額:
年間約10億ユーロ

展開段階

2020年までに
最大で200億ユーロ



ご清聴ありがとうございました。

COMMUNICATION
AND INFORMATION
SOLUTIONS FOR
A SAFER WORLD

